

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公開番号】 特開 2005-108694(P2005-108694A)
 【公開日】 平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-016
 【出願番号】 特願 2003-341990(P2003-341990)
 【国際特許分類】

F 2 1 V 7/10 (2006.01)
H 0 1 L 33/00 (2006.01)
F 2 1 S 2/00 (2006.01)
F 2 1 S 8/04 (2006.01)
F 2 1 S 8/00 (2006.01)
F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 7/10
 H 0 1 L 33/00 N
 F 2 1 S 1/00 E
 F 2 1 S 1/02 G
 F 2 1 S 1/02 U
 F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 9 月 29 日 (2006.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

箱体により形成した本体の上面を拡散性のある透過部材により構成すると共に発光面とし、該箱体の内部に L E D 素子を光源として用いた L E D 照明装置において、L E D 素子は所定方向に光を放射する L E D 素子であって、L E D 素子から発せられる所定方向への光の放射方向が L E D 照明装置の発光面と略平行になるように L E D 素子を配置し、前記 L E D 照明装置の発光面と略対向した前記箱体の底部に第 1 の反射部材を備え、前記 L E D 素子から発せられる所定方向への光の放射方向と略対向した位置に第 2 の反射部材を備えたことを特徴とする L E D 照明装置。

【請求項 2】

前記 L E D 素子を所定方向にピークの光を放射する L E D 素子としたことを特徴とする請求項 1 記載の L E D 照明装置。

【請求項 3】

前記 L E D 素子は所定方向にピークの光を放射する L E D 素子であって、L E D 素子から発せられるピークの光の放射方向が、L E D 照明装置の発光面に対し L E D 照明装置の発光面から見て後ろ側に傾斜するよう L E D 素子が配置されたことを特徴とする請求項 1 記載の L E D 照明装置。

【請求項 4】

前記 L E D 素子が少なくとも 2 つ以上の L E D 素子であって、前記 L E D 素子と略対向する前記第 2 の反射部材との距離が略同距離になるよう各々の L E D 素子を配置したことを

特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の L E D 照明装置。

【請求項 5】

前記 L E D 素子と L E D 照明装置の発光面との間に拡散性のある透過部材、又は遮光部材を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の L E D 照明装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】